

総務、産業、建設常任委員会記録

招 集 年 月 日	平成30年5月10日(木)
招 集 の 場 所	議員控室
開 会	午前9時35分
出 席 者	委員長 鈴木 宏通 副委員長 山岸 三男 委員 吉田 眞悦 委員 吉田 二郎 委員 佐野 善弘 委員 櫻井 功紀 委員 千葉 一男 議長 大橋 昭太郎
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	議会事務局主事 高橋秀彰
協 議 事 項	・定住化促進について (現状の分析)
そ の 他	
閉 会	午前11時23分

2号様式 協議の経過

<p>鈴木宏通委員長</p>	<p>それでは、第6回総務、産業、建設常任委員会を始めたいと思います。多少5分ほど遅れいたしました。資料作成のために会議が遅れた次第でありますので、御了解していただきたいと思います。本日、委員全員出席しておりますので、委員会は成立しますのでこれから始めたいと思います。</p> <p>本日も5月に入りまして天気が不安定な中、暑い日あり寒い日ありの中で農作業もいろいろ進んでまいりましたけれども、それぞれ皆様が忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日は先日皆様にお配りしました資料を基に、どのように取り組んでいるか確認の中でしていることを皆様に御理解していただくべく資料を送付させていただきました。</p> <p>まず始めに本日の進め方でございますが、まず事務局より送付いたしました資料の説明をしていただきながら、その終了後皆様といろいろ話し合うべく進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>それでは、早速定住化促進にあたりましての第2回目の皆様に送付いたしました資料について説明を事務局よりお願いしたいと思います。</p>
<p>高橋秀彰主事</p>	<p>はい。それでは配付させていただきました資料について、確認も含めまして簡単に触れさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、資料一覧その2で配付した、4月18日配付と書かせていただいておりますが、こちらは文書箱にその日に入れさせてもらったというものでしたので、御承知いただきたいと思っております。</p> <p>その他公的機関発行資料というところでございますが、大きく3点です。1点目は「移住・定住施策の好事例集」ということでございまして、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局のほうで昨年の12月に発行された、全国的な3大都市圏を除いた地域におきます移住、定住施策の事例集になっておりますので、他市町の取り組みを把握する上での参考にさせていただきたいと思っております。</p> <p>続きまして2点目ですが、「宮城県の移住・定住推進事業の概要について」というところでございまして、こちらは県の震災復興・企画部地域復興支援課で29年の1月に発行した資料になってございます。移住、定住施策ですね、県外の方々を対象に行うに当たってはやはり町だけで行える部分に限界があると思っておりますので、その点は県の施策とかも活用してやっていくものかと思っておりますので、県のほうで、30年の1月ではなくて資料が若干古くて申し訳ないですが、近年行っております事業について把握していただく上での参考にさせていただきたいと思っております。</p> <p>続いて3点目ですが、こちらは「小規模市町村における移住・定住の要因と生活状況に関する調査」というところで平成26年の7月に株式会社NTTデータの経営研究所で発行した資料になります。こちらは小</p>

規模市町村に移住、定住された方の要因というかがきっかけで移住になったかというところについて調査した資料になっておりますので、移住、定住の分析に当たってこういった要素が移住、定住に必要なかというところの参考にさせていただきたいと思って配付した資料になっております。

以上3点がですね、分量が多いということもありましたので、事務局の都合で大変恐縮なのですが早めに文書箱に入れさせてもらった資料になっております。

続いて配付資料3ですが、こちらは5月2日のときに常任委員会の通知を出した際に通知に添付させてもらいました資料になっております。全部で11点ですね。1点目は「近隣市町村定住促進事業実施状況表」というところで、議会事務局で作成したA4で表になっている資料になります。こちら私のほうで近隣他市町のホームページを参照して行っている事業等を1枚の紙にまとめたものになっておりますが、例えば涌谷町さんですと最新の事業がホームページに載っていなかったりということもございまして、こちらは報道記事から抜粋したものになっております。若干、もしかしたら掲載内容が最新のものとないものがあるかもしれませんが参考程度というところで理解いただきたいと思いますので、よろしく願います。

続いて加美町から出されている「ふるさと就学家賃応援補助金」ですね、こちらは学生に対して補助しているというところで特徴的な事業ということで付けさせていただきました。

続いて3つ目の資料ですが、「地域おこし協力隊設置要綱」というところで、加美町さんが22年でもうこういった要綱をつくって地域おこし協力隊を活用しながらいろいろな施策にあたっているというところでですね、美里町では行っていない事業になるかと思っておりますので、一応要綱ということで近隣市町村での取り組みとして紹介させていただいた資料になります。

続いて4点目ですが、「地域おこし協力隊募集チラシ」こちらA4で両面1枚になっているチラシのような資料になりますが、これは30年度の地域おこし協力隊ということで加美町が今年度募集している、取り組んでいる事業になっておりますのでこちらも参考にさせていただきたいと思っております。

続きまして、5、6、7、8点目の資料については登米市の資料になりますが、5点目は移住お試し住宅ということで、利用期間2泊3日以上9泊10日以内ということになります。無料で移住の体験ができるような事業を行っているようでございまして、その案内に関するチラシになっております。

続いて6点目は移住体験ツアーというところで、これも登米市で行っている事業になりますが、年4回行われたようでございましてこれは第3回目のチラシになっております。裏面が申込書というふうになっておりますが、このような移住ツアーを昨年やったようでございます。

7点目が移住体験ツアーの報告というところで、これはホームページに

	<p>掲載されておりましたこの12月3日の、6点目の資料を基に行ったツアーの報告という形になっておりますので、確認いただきたいと思います。</p> <p>8点目が登米市さんの地域おこし協力隊員が着任しましたというホームページでの報告のものになっておりますが、登米市さんでは移住・定住支援員というところで地域おこし協力隊というものを移住、定住の分野で活用させているというところで、こちら取り組みとしては参考になるものかなと思って付けさせていただきました。</p> <p>続いて9点目ですが、今度は栗原市の「移住生活体験事業募集要綱」というところで、栗原市さんでは要綱を策定して事業を行っているというようございますので、仮に本町で今後もしかしたらやっていくのかもしれませんが、そういう際の参考になるようなものかと思って付けさせていただきました。</p> <p>続いては10点目、「地域おこし協力隊について」ということで、こちらは総務省で発行しているものになります。これは、本当は7ページくらいのパワーポイント資料ではあったんですが、関係するところだけを抜粋した形で付けさせてもらっております。そのうちの1枚目に関しては概要のようなものとなっております、こちらのほうは財政措置がされている事業で人件費の部分でしたり経費の部分でしたり、そういったところに対して国のほうから財政措置がされてそれを基に加美さんや周辺市町村で行っているという形になっておりますので参照いただきたいと思います。</p> <p>2枚目の「地域おこし協力隊の活躍先」というものになりますが、隊員数4,830名997自治体というところで、宮城県では99人、近隣ですと加美さん、涌谷さん、あとは大崎市さん、栗原市さん、登米市さんでは制度を活用されて地域おこし協力隊が活躍しているような、そういった一覧の資料になっております。</p> <p>配付資料3に関しては以上となります。もし、落丁や不足等ありましたらお申し付けいただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。以上です。</p>
鈴木宏通委員長	<p>今、事務局より皆様にお渡ししました資料に関しましての説明をしましたが、皆さんにはお手元に全部資料はお届きでしょうか。まずもって。今説明された部分は皆全員届いていますか。（「はい」の声あり）</p> <p>今回の委員会の中身についても皆さんでいろいろとお話を出していただくべく休憩を中心に進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）</p> <p>では休憩をいたします。</p>
	<p>休憩 9時47分</p> <p>再開 11時20分</p>
鈴木宏通委員長	<p>再開をいたします。</p> <p>それでは、本日の会議になりましたが、今までの資料に関しての皆さんの御意見を賜り、我が町でさまざまな検討が必要な部分、課題がある部分、さまざま皆様に御提案いただいた部分がありました。その部分を</p>

	<p>踏まえまして、今後テーマの絞り込みを含めまして、今度の 28 日、そして 6 月会議前に委員会を設けましてその調整を図ってまいりたいと思います。</p> <p>そして、次回の 28 日に関しましては、まちづくり推進課、担当課との協議を行いますので、先ほど 3 点申しましたけれども、主にこの 3 点……主に 3 点って言ったってここで言わないとわかんない……。皆様これからお配りはしますが、定住化にありますアンケートに対しての結果の推察をどのように捉えていくかという点。そして、情報発信の仕方ということにつきまして話し合いをしたいと。そして、担当課としてまずこれから定住化をどのように考えているか、これが一番でしょうけども。この 3 点につきまして担当課と話し合いを持ちたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>続きまして、本日また再度提供いただきました資料につきましても皆様に御理解いただき、目を通していただきながらさらなる定住化につきましての御理解を深めていただきながら新たな意見及び提案をいろいろと出していただきたいと考えます。</p> <p>あとそのほか皆様からもしこういう定住化の部分、移住に関する資料提供がありましたらぜひ私なり事務局のほうに提供していただきながらいろいろとまた検討を進めてまいりたいと思いますので、その部分をお願い申し上げ、本日の会議を終了させていただきます。よろしいでしょうか。(「はい」の声あり)</p> <p>副委員長お願いします。</p>
山岸三男副委員長	<p>大変御苦労さまでした。最初に高橋君に大変資料をいっぱいつくっていただきまして大変ありがとうございました。だんだん私たち常任委員会のテーマも少しずつ見えてきたような気がしますので。ただ、あまりにもテーマが重いかと非常に……どうなるのかなとまだ不安なところがあります。でもしっかりと美里町のために私たち常任委員会のテーマとして頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>本日は大変御苦労さまでした。</p>
	閉会

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 30 年 5 月 10 日

総務、産業、建設常任委員会

委員長